

平成 31 年度全学 FD 委員会教育情報マネジメントワーキンググループ活動計画
 —FD 推進センター基本計画の教育情報マネジメントワーキンググループ活動計画への反映—

FD 推進センター基本計画	中期計画（平成 30 年度～平成 32 年度）	
平成 31 年度 教育情報マネジメント ワーキンググループ活動計画	③質保証体制を踏まえて実施される FD の成果とその充実を支援する情報の収集と 発信及び教育ツールの開発と充実 —FD ガイドブックの充実・新規教育ツールの開発—	中期計画①、②及び他ワーキン ググループとの連携
「日本大学 FD NEWSLETTER」の作成	質保証体制を踏まえて実施される FD の成果とその充実を支援する情報の収集を行い、部 科校の先進事例や最新のトピックス・イベント等を取り上げつつ学内外に発信する。	他ワーキンググループから提 供される情報の可視化を図 る。
『日本大学 FD ガイドブック』の改訂	『Teaching Guide』 日本大学教育憲章を基軸とした教育の質保証を担保すべく、FD 及び教学戦略の両視 点から主に第 1 章の充実を図る。 『Learning Guide』 初年次教育のサブテキストとしての側面から内容の見直しを図り、入学から卒業時 に至るまで手元に置いて活用することのできるガイドブックとなるよう改訂を行 う。	質保証体制の充実を図るため に重点的に推進される諸施策 (①②)を FD ガイドブックに 反映させるため、他ワーキン ググループとの連携を強化す る。
『日本大学 FD 研究』の編集・刊行	教育業績への反映も見越して投稿原稿の種類を平成 30 年度に行った。ポスタ ーやチラシを用い学内周知の徹底を図り今まで以上に積極的な投稿を呼びかけ、 高等教育開発・研究に関する論考や活動報告などを学内外に共有することにより、 組織的な教育の質向上を図ることを目的としたい。投稿原稿は期限を設けず随時受 付する。採用が決定された原稿は迅速に日本大学 FD 推進センターウェブサイトにお いて公開することを通して、質保証体制を踏まえて実施される FD の成果とその充実 を支援するとともに、『日本大学 FD 研究』のさらなる内容充実を図る。	教育業績評価やポートフォリ オ等に係る情報の共有を図る とともに、質保証体制の充実 と日本大学教育憲章を捉えた FD 活動の各学部レベルの活動 報告を積極的に取り組んで学 内外に発信する。
FD 推進センターウェブサイトの具体的活 用方法の継続的な検討と展開	FD 推進センターウェブサイトへの FD 関連行事の積極的な発信を目標とする。各部科 校での FD 活動を掲載し、学内へ周知させる。	学生参画型 FD 活動が、実際の 教育の質的向上に有効であつ た事例を募集する。

中期計画①, ②及び他ワーキンググループとの連携	上記 4 つの活動計画を実施すると同時に、リーダー会議等を介し WG 間の会議を密にして連携を強める。各 WG での活動に他の WG のメンバーが 1 人でも参加することにより連系は密になるものとする。また、各 WG で実施した FD 活動を必ず論文化し、学内全体また学外へ広く知らせることを徹底したい。
--------------------------	--

【中期計画（平成 30 年度～平成 32 年度）参考】

- ① 保証体制の充実に資する本学 FD の在り方の調査と方針の明確化：マクロ・ミドル・ミクロそれぞれの観点から補完する諸方策等の検討
－教育業績評価・ポートフォリオ等の在り方－
- ② 質保証体制の充実と日本大学教育憲章を捉えた FD 活動の各学部等への浸透策の展開
－ワークショップ等浸透に関わるプログラムの充実と改善－